



Catalyst 4500 シリーズ センター マウント システム インストール ショート ノート

Customer Order Number: DOC-J-7816810=

製品番号 :

WS-X4503-23CNTR= C4503 センターマウント 23 インチ ラック キット (左右)

WS-X4503-FILTER= C4503 センターマウント 23 インチ フィルタ (1 セット)

WS-X4506-23CNTR= C4506 センターマウント 23 インチ ラック キット (左右)

WS-X4506-FILTER= C4506 センターマウント 23 インチ フィルタ (1 セット)

WS-X4507-23CNTR= C4507R センターマウント 23 インチ ラック キット (左右)

WS-X4507-FILTER= C4507 センターマウント 23 インチ フィルタ (1 セット)

WS-X4510-23CNTR=C4510R センターマウント 23 インチ ラック キット (左右)

WS-X4510-FILTER=C4510 センターマウント 23 インチ フィルタ (1 セット)

安全上の警告

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

これらの注意事項を保存しておいてください。



警告

この装置は、人の出入りが制限された場所に設置することが想定されています。人の出入りが制限された場所とは、特殊な工具、ロックや鍵、またはその他のセキュリティ方式を使用しないと入れない場所のことです。



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告

怪我やシャーシの損傷を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりしないでください。これらのハンドルは、シャーシの重量を支えるようには作られていません。

このマニュアルには、オプションのブラケットを使用して2支柱ラックに Catalyst 4500 シリーズ スイッチを搭載する手順が記載されています。スイッチを初めて設置する場合は、次のページからの作業を順番に行ってください。Catalyst 4500 シリーズ スイッチの設置に関するその他の詳細については、次の URL にある『*Catalyst 4500 Series Installation Guide*』を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/lan/cat4000/hw_doc/4500inst/index.htm

スイッチのラックマウント

このラックマウントキットは、外側の 2 本の支柱に障害物がない標準 23 インチ (58.4 cm) 装置ラックにスイッチを搭載する場合に使用します。このキットは、スイッチの Field-Replaceable Unit (FRU) の交換を妨げるような障害物 (電源ストリップなど) があるラックには適していません。

必要な工具

シャーシをラックに設置する場合は、次の工具および機器が必要です。

- No.1 および No.2 プラス ドライバ (ほとんどのシステムの非脱落型ネジを締める際に使用)
- 3/16 インチのマイナス ドライバ (一部のシステムで、スーパーバイザ エンジンおよびスイッチング モジュールの非脱落型ネジを締める際に必要)
- 静電気防止用マットまたは静電気防止材 (設置上の問題を解決する際、スイッチング モジュールを取り外すために必要)
- ラックマウントキット
- 巻尺
- 水準器
- 手持ちのESD(静電気放電)防止用ストラップまたはシステムに付属の使い捨てESDストラップ

Catalyst 4500 シリーズ スwitchのラックマウント



警告

この装置をラックに搭載する場合、またはメンテナンスを行う場合は、怪我を防止するために、システムが不安定にならないよう十分注意してください。次に、安全上の注意事項を示します。

- ラックにこの装置のみを搭載する場合は、ラックの最下部に搭載してください。
- ほかの装置もラックに搭載する場合は、最も重量のあるコンポーネントをラックの最下部に配置し、下から上へ重い順に搭載します。
- ラックにスタビライザが付属している場合は、スタビライザを取り付けてから、装置の設置やメンテナンスを行ってください。

ラックに Catalyst 4500 シリーズ スwitchを設置する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 次のように設置の準備を行います。

- シャーシをラックにできるだけ近い床面または頑丈なテーブルに置きます。作業しやすいように、シャーシの周りに十分なスペースを確保します。
- ラックマウントキットを開けて、表 1 のチェックリストを参照し、すべての部品がそろっていることを確認します。

表 1 ラックマウントキットのチェックリスト

数量	部品
2	センター ラック マウント
6	M4 なベネジ
6	12-24 x 3/4 インチのバインダヘッドネジ



(注) 装置ラックの背面支柱のどちらかに、電源ストリップが付いていることがあります。ラックに電源ストリップが付いている場合には、ストリップの位置に合わせて固定ポイントを検討してください。シャーシにブラケットを取り付ける前に、シャーシをラックの前面または背面のどちらから取り付けるかを決めておいてください。

ステップ 2 ブラケットを使用して、次のようにシャーシをラックに取り付けます。

- a. スイッチの側面カバー パネルの正面からネジを取り外します。
- b. ラックマウント キットに付属の M4 なベネジを使用して、スイッチの両側にブラケットを取り付けます



(注) フィルタ部分がファン トレイと向き合うように、ブラケットを取り付けます (図を参照)。ブラケットを裏返して、フィルタを反対側に取り付けることができますが、このようにするとフィルタが無意味になります。

Catalyst 4503 スイッチの場合は [図 1](#)、Catalyst 4506 スイッチの場合は [図 2](#)、Catalyst 4507R スイッチの場合は [図 3](#)、Catalyst 4510R スイッチの場合は [図 4](#) を参照してください。

図 1 Catalyst 4503 スイッチのセンター マウント ブラケット

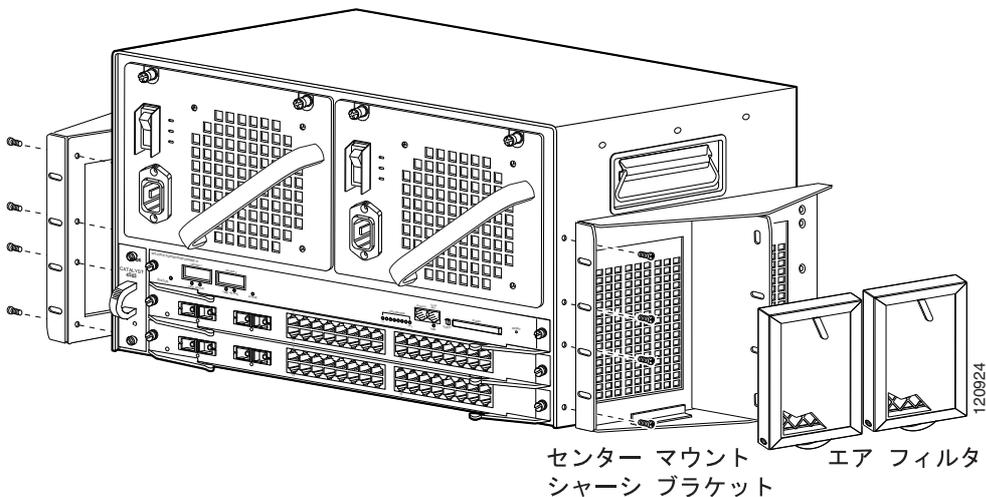


図 2 Catalyst 4506 スwitchのセンター マウント ブラケット

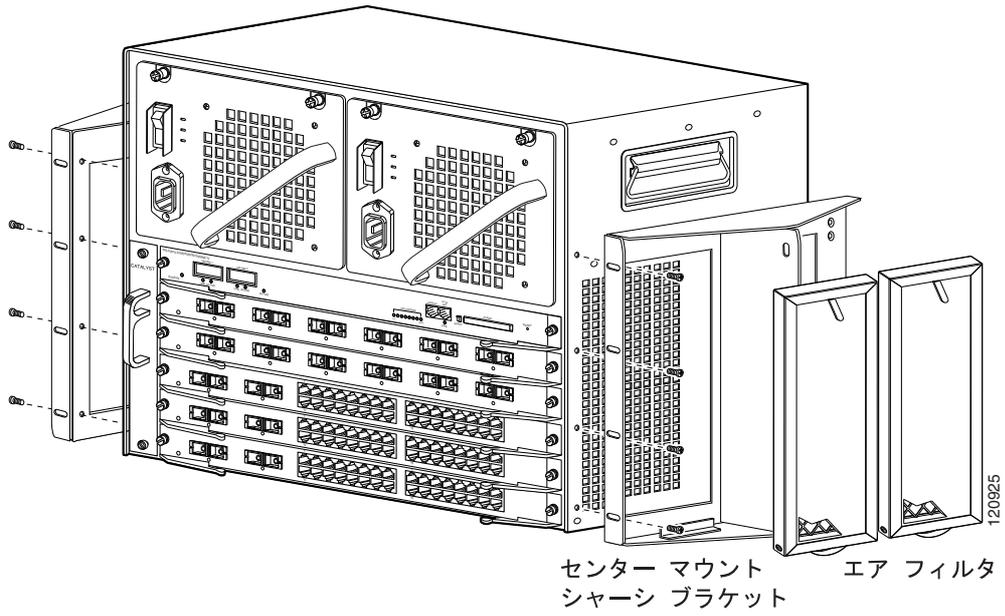


図 3 Catalyst 4507R スwitchのセンター マウント ブラケット

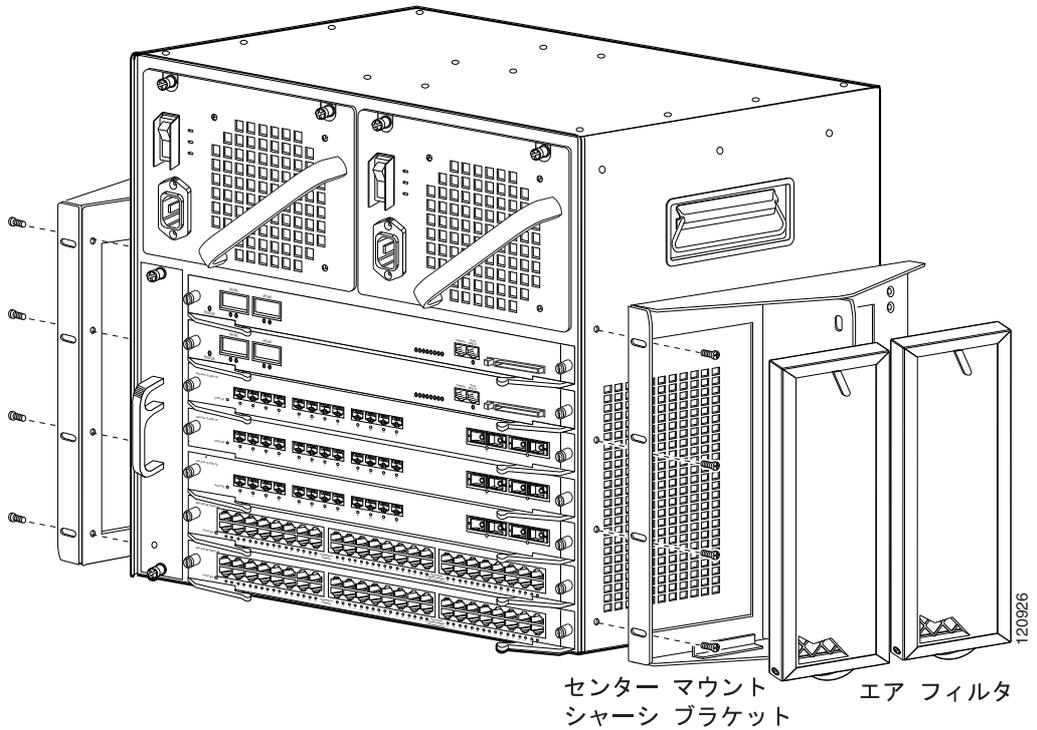
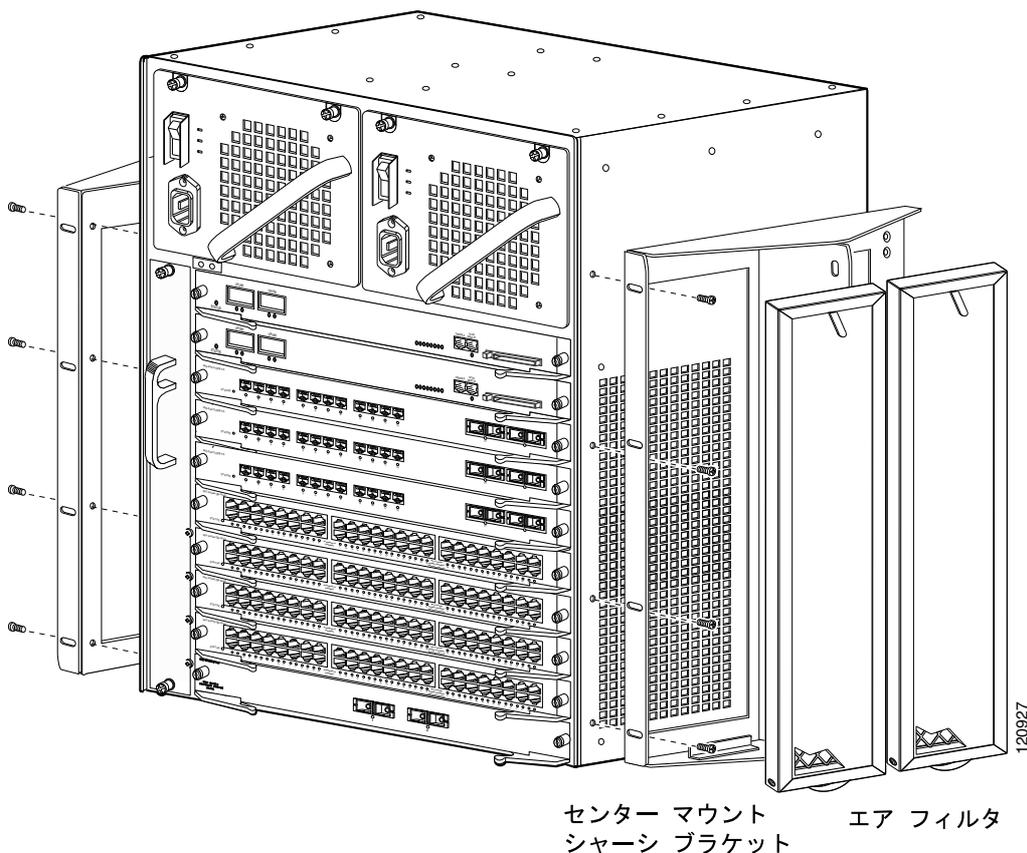


図 4 Catalyst 4510R スイッチのセンター マウント ブラケット



センター マウント シャーシ ブラケット エア フィルタ

- c. フィルタを取り付けます。手前のフィルタを取り付けるには、ブラケットにフィルタの下端を差し込み、タブを引き下げてから、センター マウント ブラケットにはめ込みます。奥のフィルタはスイッチの背面から、シャーシと並行になるように差し入れます。スイッチの吸気グリルがフィルタで覆われるようにしてください。



(注) フィルタは3～6か月ごとに（あるいは必要に応じてより頻繁に）交換する必要があります。

- d. 必要に応じて、ケーブル マネジメント キットに含まれている M3 ネジを使用して、ケーブル ガイドを取り付けます。ケーブル ガイドはマウント ブラケットに取り付けます。ケーブルがモジュール LED の邪魔にならないように、ケーブル ガイドはスイッチの右側に取り付けてください。

Catalyst 4503 スイッチの場合は図 5、Catalyst 4506 スイッチの場合は図 6、Catalyst 4507R スイッチの場合は図 7、Catalyst 4510R スイッチの場合は図 8 を参照してください。

図 5 Catalyst 4503 スイッチへのケーブルガイドの取り付け

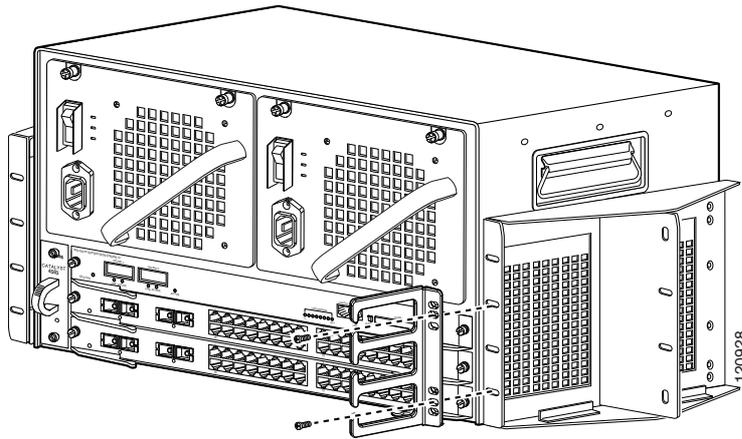


図 6 Catalyst 4506 スイッチへのケーブルガイドの取り付け

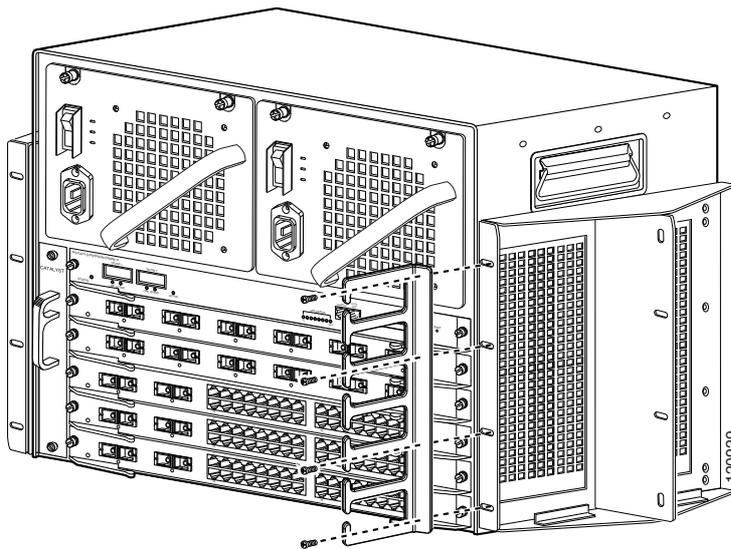


図 7 Catalyst 4507R スイッチへのケーブルガイドの取り付け

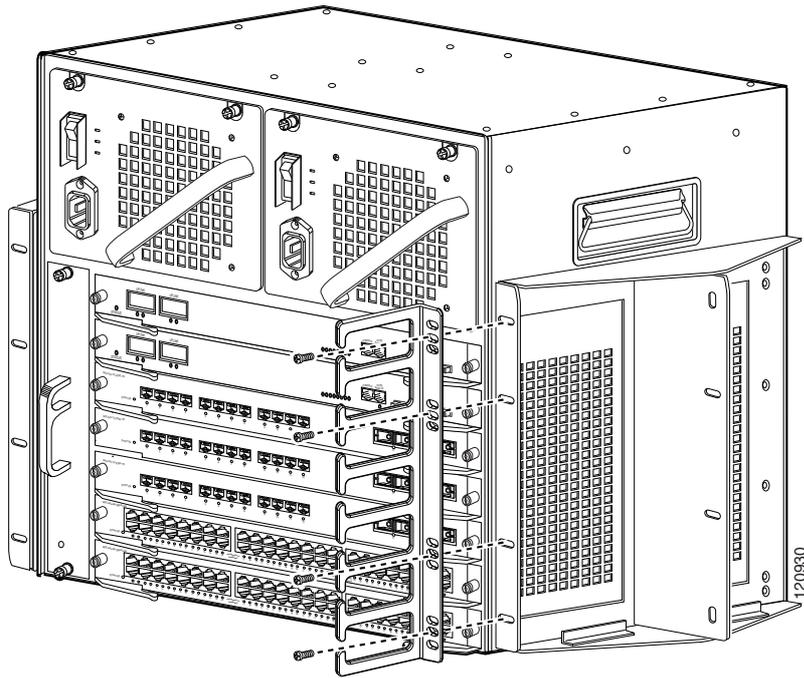
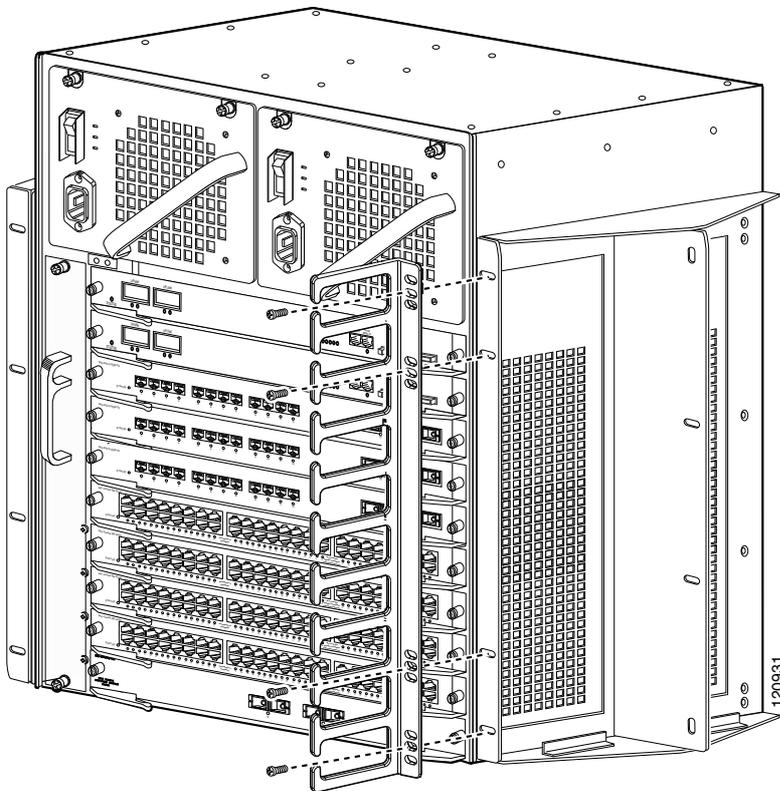


図 8 Catalyst 4510R スイッチへのケーブルガイドの取り付け



ステップ 3 次の手順に従って、シャーシをラックに取り付けます。

- a. シャーシの前面を手前にして、支柱の間に挿入します。
Catalyst 4503 スイッチの場合は、[図 9](#) を参照してください。
Catalyst 4506 スイッチの場合は、[図 10](#) を参照してください。
Catalyst 4507R スイッチの場合は、[図 11](#) を参照してください。
Catalyst 4510R スイッチの場合は、[図 12](#) を参照してください。
- b. ブラケットの穴と装置ラックの穴の位置を合わせます。
- c. 少なくとも 6 本（各側 3 本ずつ）の 12-24 x 3/4 インチ ネジを L 型ブラケットの横長の穴と支柱のネジ穴に通して、シャーシを固定します。
- d. 巻尺と水準器を使用して、シャーシがまっすぐ水平に取り付けられていることを確認します。

図 9 Catalyst 4503 スイッチのラックへの取り付け

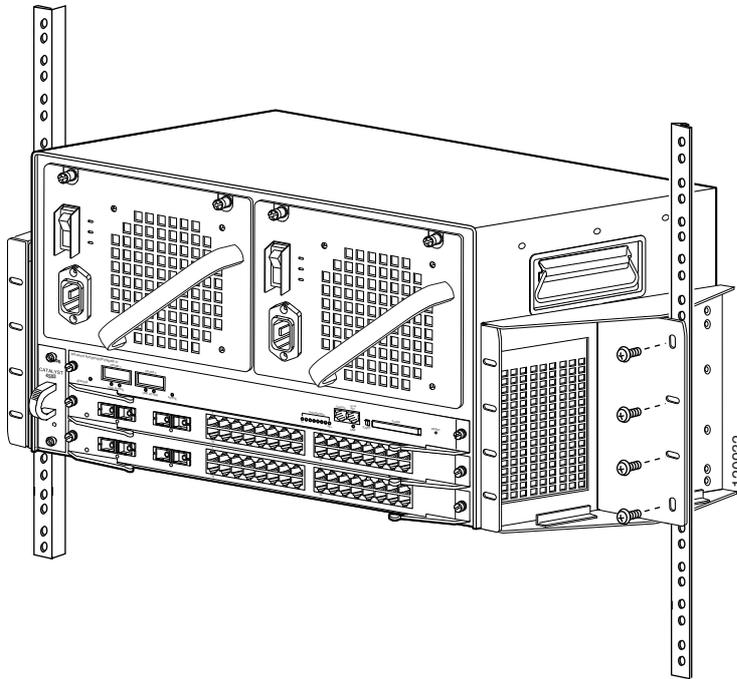


図 10 Catalyst 4506 スイッチのラックへの取り付け

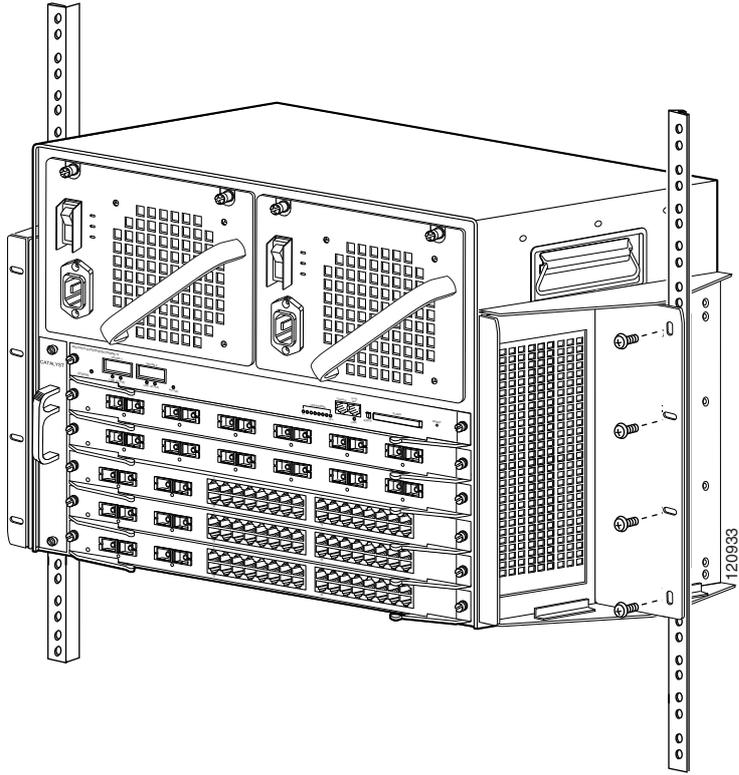


図 11 Catalyst 4507R スイッチのラックへの取り付け

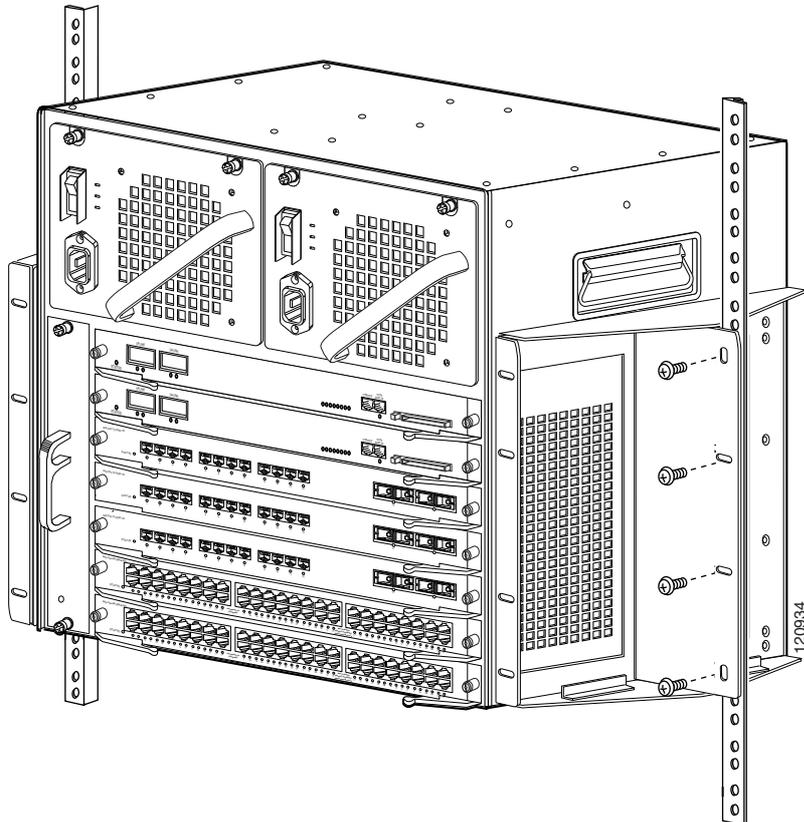
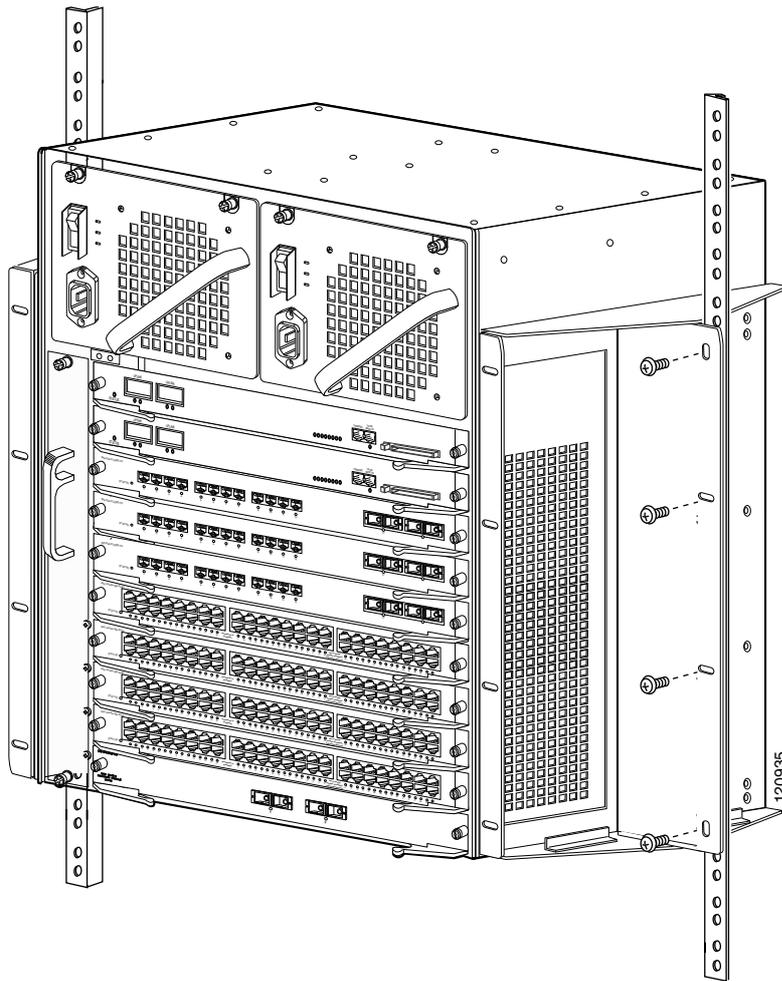


図 12 Catalyst 4510R スwitchのラックへの取り付け



- ステップ 4** イジェクトレバーが完全に閉じていて、スーパーバイザエンジンおよびスイッチングモジュールが固定されていることを確認します。
- ステップ 5** スーパーバイザエンジンおよびスイッチングモジュールの非脱落型ネジをすべて締めます。
- ステップ 6** スイッチを適切にアース接続します。「[システムのアース接続に関する注意事項](#)」(p.12)を参照してください。スイッチに電源を供給する前に、システムをアース接続する必要があります。
- ステップ 7** 電源コードを接続します。

電源コードを接続し、電源スイッチがある場合はオンにすると、スイッチに電源が入ります。

これで、Catalyst 4500 シリーズスイッチの設置は完了です。

システムのアース接続に関する注意事項

Catalyst 4500 シリーズ スイッチの左側電源装置付近のラックには、システム アース用の穴が2つ付いたアースパッドが付いています。アース用穴の位置については、Catalyst 4503 スイッチの場合は [図 13](#)、Catalyst 4506 スイッチの場合は [図 14](#)、Catalyst 4507R スイッチの場合は [図 15](#)、Catalyst 4510R スイッチの場合は [図 16](#) を参照してください。

図 13 Catalyst 4503 のアース用穴

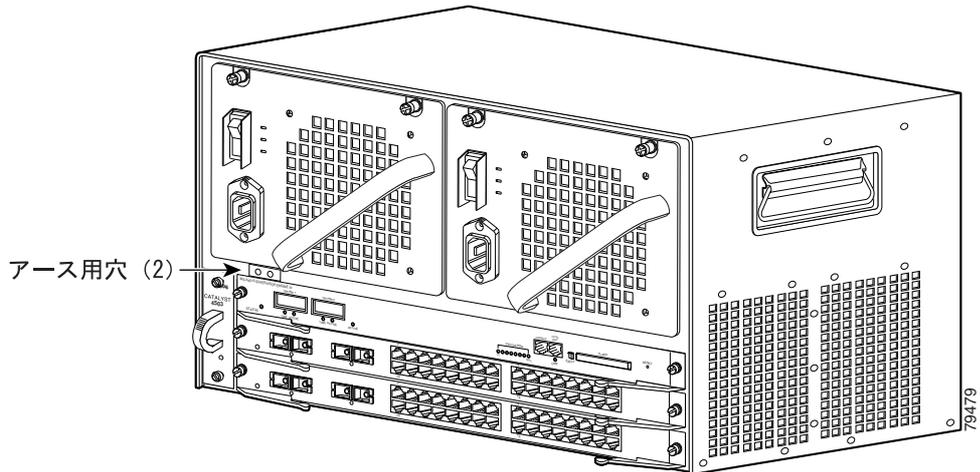


図 14 Catalyst 4506 のアース用穴

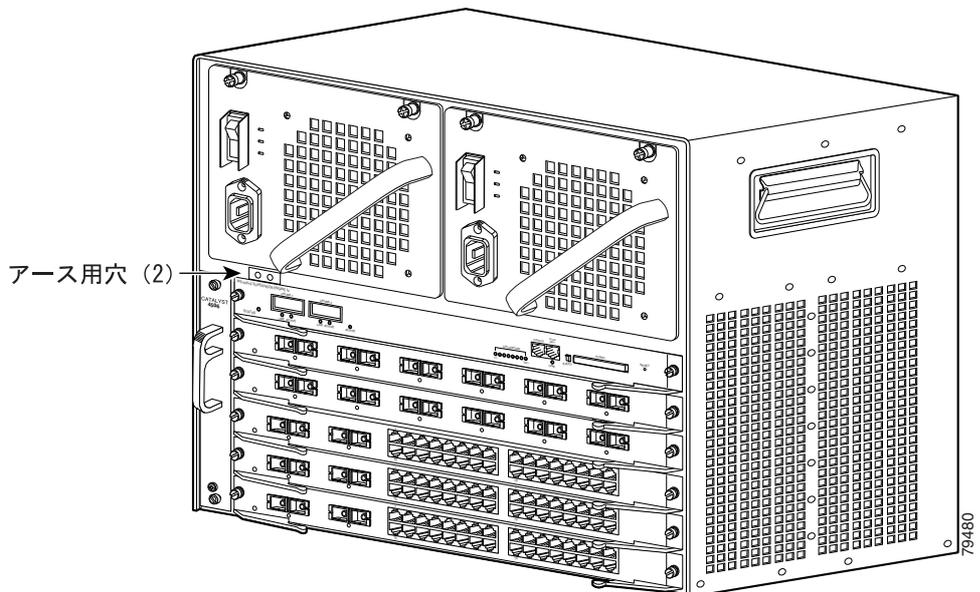


図 15 Catalyst 4507R のアース用穴

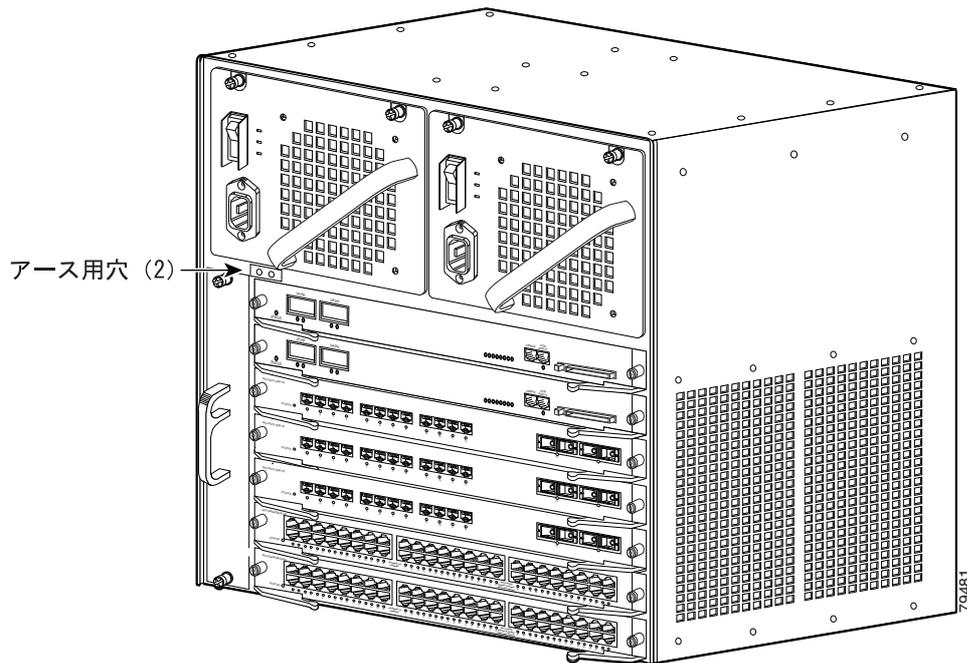
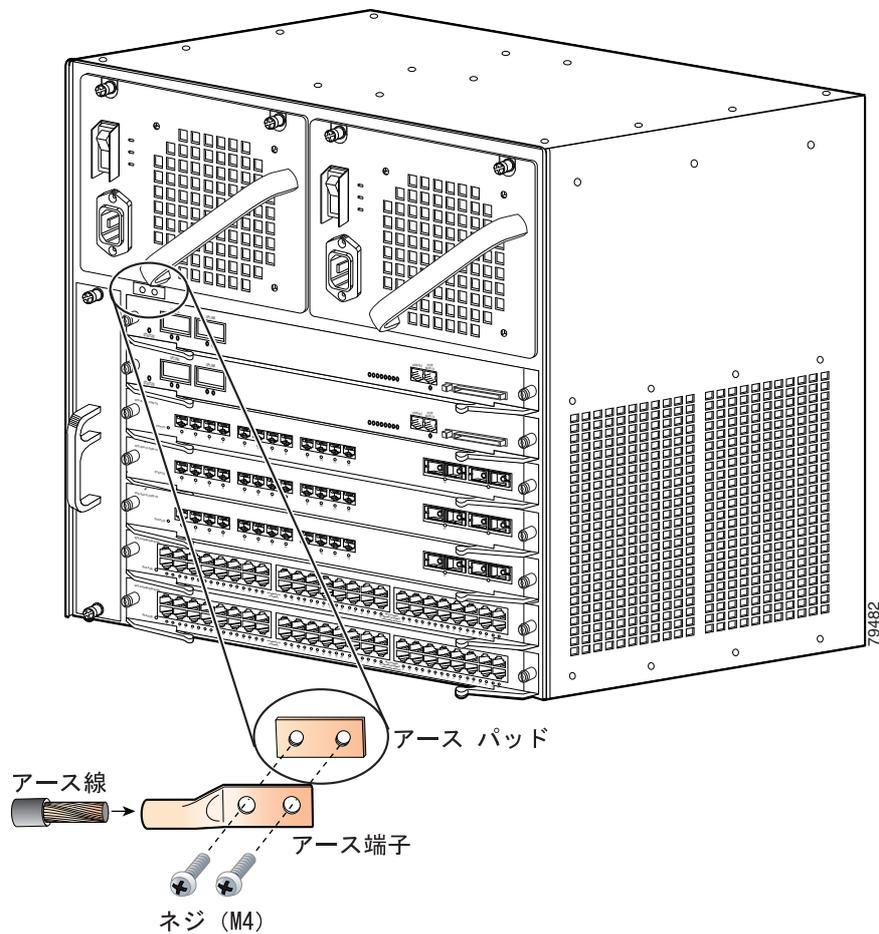


図 16 Catalyst 4510R のアース用穴



必要な部品および工具



(注) 別途、ここに記載された部品および工具が必要です。

適切にアース接続するには、次の部品および工具が必要です。

- アース端子 — ネジ穴が 2 つあるもの。
- M4 (金属) 六角ネジ×2
- アース線 ×1 (6 AWG を推奨) — 必要なアース線の長さは、設置場所でのスイッチの位置とアース設備までの距離によって異なります。
- No.2 プラス ドライバ
- 圧着工具 — アース線をアース端子に圧着できるように、端子の大きさに合った工具が必要です。
- ワイヤストリッパ

システムのアース接続

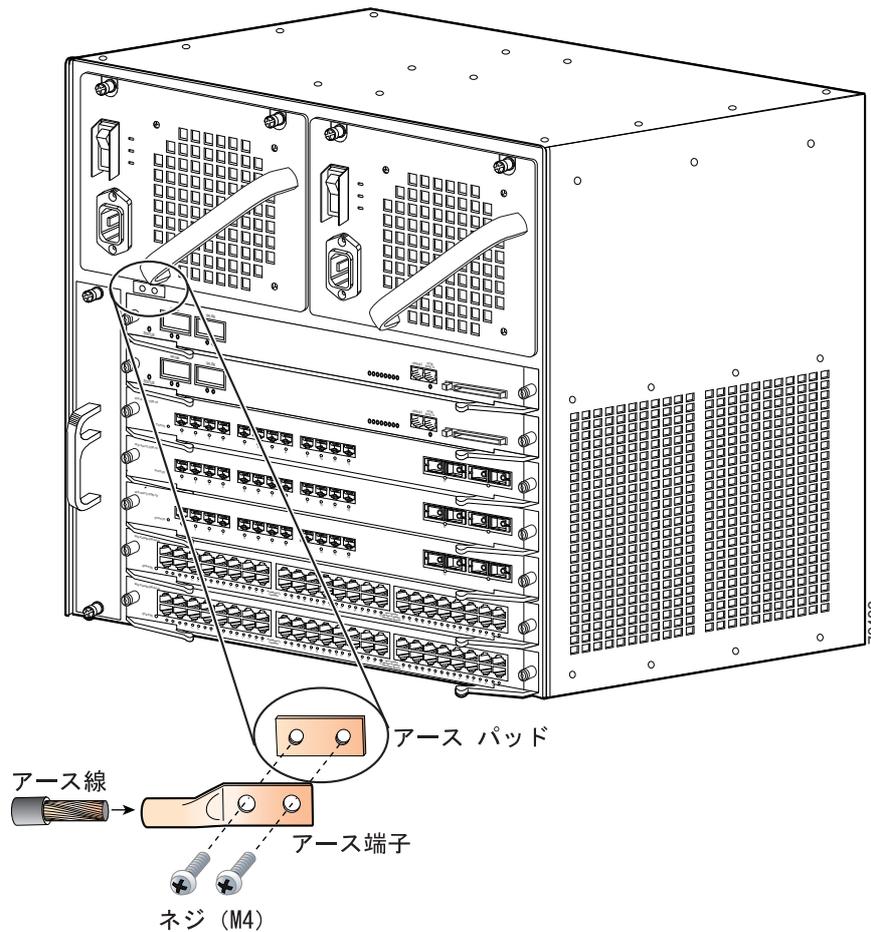
ここでは、Catalyst 4500 シリーズ スイッチのアース接続の手順について説明します。システムのアース接続が必要となるのは、FXS モジュールが搭載されている場合、またはこの装置が米国または欧州のセントラル オフィスに設置されている場合です。システム電源を接続したり、スイッチに電源を投入したりする前に、ここに記載された手順を完了する必要があります。

Catalyst 4500 シリーズ スイッチのアース パッドにアース端子とアース線を取り付ける手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** ワイヤストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ (19 mm) ほど被膜をはがします。
- ステップ 2** アース線の被覆のない部分をアース端子の開放端に挿入します (図 17 を参照)。
- ステップ 3** 圧着工具を使用して、アース線をアース端子に固定します。
- ステップ 4** スイッチのアース パッドの位置を確認します。

アース用穴の位置については、Catalyst 4503 スイッチの場合は図 13、Catalyst 4506 スイッチの場合は図 14、Catalyst 4507R スイッチの場合は図 15、Catalyst 4510R スイッチの場合は図 16 を参照してください。

図 17 スイッチ システムのアース接続



ステップ 5 アースパッドに付いているラベルをはがします。

ステップ 6 アース端子とアースパッドの穴を合わせます。アース端子およびアースパッドの穴に 2 本の M4 ネジを差し込みます (図 16 および図 17 を参照)。

アース端子および接続されているアース線が、他のスイッチハードウェアやラック機器の妨げにならないようにします。

ステップ 7 ネジを締めて、アース端子をアースパッドに固定します。

ステップ 8 ステップ 1 ~ 3 を繰り返して、アース線の他端を設置場所のアース設備に接続し、スイッチに適切なアースを施します。

マニュアルの入手方法

シスコの製品マニュアルおよび追加の資料は、Cisco.com で入手することができます。また、テクニカルサポート、およびその他のリソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

マニュアルの発注方法

マニュアルの発注方法については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

シスコ製品のマニュアルは、次の方法でご発注いただけます。

- Cisco.com (Cisco Direct Customers) に登録されている場合、Ordering tool からシスコ製品のマニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/index.shtml>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、シスコシステムズとサービス契約を結んでいるお客様、パートナー、リセラー、販売店を対象として、評価の高い 24 時間体制のテクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support Web サイトでは、広範囲にわたるサポート リソースをオンラインで提供しています。さらに、Technical Assistance Center (TAC) では、電話でのサポートも提供しています。シスコシステムズとサービス契約を結んでいない場合は、リセラーにお問い合わせください。

Cisco Technical Support Web サイト

Cisco Technical Support Web サイトでは、オンラインで資料やツールを利用して、トラブルシューティングやシスコ製品およびテクノロジーに関する技術上の問題の解決に役立てることができます。Cisco Technical Support Web サイトは、1 年中いつでも利用することができます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support Web サイト上のツールにアクセスする際は、いずれも Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL で登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある Tools & Resources リンクをクリックして、Cisco Technical Support Web サイトからアクセスできます。Alphabetical Index ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックしてください。CPI ツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、または特定の製品に対する show コマンド出力のコピー&ペーストによる 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの場所がハイライトされた製品の説明図が表示されます。テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えておいてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

Service Request ツールの使用

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます（ネットワークの障害が軽微である場合、あるいは製品情報が必要な場合）。状況をご説明いただくと、TAC Service Request ツールが推奨される解決方法を提供します。これらの推奨リソースを使用しても問題が解決しない場合は、TAC の技術者が対応します。TAC Service Request ツールは次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

問題が S1 または S2 であるか、インターネットにアクセスできない場合は、電話で TAC にご連絡ください（運用中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合）。S1 および S2 の問題には TAC の技術者がただちに対応し、業務を円滑に運営できるよう支援します。

電話でテクニカル サポートを受ける際は、次の番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋 : +61 2 8446 7411（オーストラリア : 1 800 805 227）

EMEA : +32 2 704 55 55

米国 : 1 800 553-2447

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題の重大度の定義

すべての問題を標準形式で報告するために、問題の重大度を定義しました。

重大度 1 (S1) — ネットワークがダウンし、業務に致命的な損害が発生する場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

重大度 2 (S2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下、またはシスコ製品のパフォーマンス低下により業務に重大な影響がある場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

重大度 3 (S3) — ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧を行います。

重大度 4 (S4) — シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手することができます。

- Cisco Marketplace は、さまざまなシスコの書籍、参考資料、およびロゴ入り商品を提供しています。Cisco Marketplace には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/marketplace/>
- 『Cisco Product Catalog』には、シスコシステムズが提供するネットワーク製品のほか、発注方法やカスタマー サポート サービスについての情報が記載されています。『Cisco Product Catalog』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://cisco.com/univercd/cc/td/doc/pcat/>
- Cisco Press では、ネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を幅広く発行しています。初心者から上級者まで、さまざまな読者向けの出版物があります。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.ciscopress.com>
- 『Packet』は、シスコシステムズが発行するテクニカル ユーザ向けの季刊誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するのに役立ちます。『Packet』には、ネットワーク分野の最新動向、テクノロジーの進展、およびシスコの製品やソリューションに関する記事をはじめ、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、設定例、お客様の事例研究、認定やトレーニングに関する情報、および多数の詳細なオンラインリソースへのリンクが盛り込まれています。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/packet>
- 『iQ Magazine』は、シスコのテクノロジーを使って収益の増加、ビジネス効率の向上、およびサービスの拡大を図る方法について学ぶことを目的とした、シスコシステムズが発行する成長企業向けの季刊誌です。この季刊誌は、実際の事例研究や事業戦略を用いて、これら企業が直面するさまざまな課題や、問題解決の糸口となるテクノロジーを明確化し、テクノロジーの投資に関して読者が正しい決断を行う手助けをします。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>
- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコシステムズが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/ipj>
- シスコシステムズは最高水準のネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると妨害電波を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という用語を使用している場合、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0502R)

Copyright © 2004, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501